

事業中間報告書（11月20日時点）

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	コミュニティ駄菓子屋事業
団体名	倉敷東学区社会福祉協議会
担当課	

1 事業の概要

事業計画書（様式第2号）に記載した「4 計画の概要と対象者」を転記してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・駄菓子屋開催日の案内チラシを関連機関に置かせて戴く。 ・世代間のコミュニケーションをより深めるため、生活支援コーディネーターの協力も得て、子育て中のパパ・ママ、学区内の借り上げ型仮設住宅に転居された被災者への声かけも行う。 ・運営する高齢者の負担感を減らす必要はあるが、積極的参加の仕掛けづくりも検討し、生きがいに結び付けると同時に引き続き楽しい企画の立案と新たな担い手の発掘を行う。

2 アウトプット（直接の結果）の達成状況

事業計画書（様式第2号）に記載した「5 アウトプット（直接の結果）」の「指標」及び「事業実施後の数値目標」を転記し、11月20日時点の達成状況を数値で記入してください。

指標（転記）	事業実施後の数値目標（転記）	11月20日時点の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・「だがしや」の開店回数 ・学生との情報共有 ・特に子育て中のパパ・ママや学区内の借り上げ型仮設に居住の被災者にも参加してもらう 	12回/年間 開店時以外に最低2ヵ月に一度 参加者数毎回 40～70名 数家族	8回/11月まで(予定通り、毎月第三土曜日) 4/6、5/28、7/6、9/12、10/31 毎回25～45名程度 被災者家族や別町内家族も参加

3 事業の改善状況

事業を実施する中で改善してきたことを記入してください。

- ・市社協の協力を得て、町内近隣の「みなし仮設住宅」にお住まいの方々への案内を Line 等で告知して戴くようにした。
- ・「だがし」の品揃えを図ると、月 1 回の開催では次回開催までにどうしても賞味期限切れが出てしまう。本年度はそのようなものは 2 個セットとし予定金額で販売したところ、廃棄するものを削減することができた（今の世の中、賞味期限ではあっても、販売したとなるとトラブル原因になりそうで）
- ・学童保育の先生がたに協力を要請し、行事がないときには多数の子どもたちを引率してきてくださった（子どもたちには大喜び）

4 未解決の課題

現時点で解決できていない課題を記入してください。

- ・学生の後継者（下級生）が育っていない
- ・町内会の年配者も体調不良者が増加の傾向にあるのに、後継者ができない

5 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
駄菓子屋事業 3 年目 学生との打合せ (責任者と今後一年の進め方に付いて)	平成 31.04.06 R1 5/28、7/6、9/12、 10/31	倉敷町家トラスト	2 2~3	
駄菓子屋開店（毎月第 3 土曜日）メイン企画				
4 月 ニューススポーツ（囲碁ボール）	平成 31.04.20	幸町会館	10	13
5 月 割り箸で輪ゴム鉄砲を作ろう	令和 1 年 05.18	〃	7	16
6 月 折り紙遊び	6/15	〃	6	45
7 月 シャボン玉とスライム作り	7/20	〃	3	25
8 月 タスマレ（しらかベキッズ）、綿菓子	8/17	〃	3	35
9 月 腹話術	9/21	〃	7	31
10 月 牛乳パックで工作（独楽作り）	10/19	〃	3	25
11 月 カブラあそび	11/16	〃	3	39
学区内見なし仮設住宅居住者への働きかけ 倉敷市社協生活支援コーディネーターに 毎月のパンフ配布依頼 地区社協会長としての広報 県の広報誌「生き生きネット」に 活動紹介記事提出	R1 05.21~毎月 広報くらしき記事 R1 年 10 月 21 日	倉敷市社協 広報 8 月号掲載 広報 1 月号案提出		